

---

九州運輸局メールマガジン 平成 30 年 3 月 1 日 第 378 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 30 年 3 月 15 日（木）です。

---

## ■ 目次

### 1 現場レポート

◆海上技術学校生徒の就職先に内航海運を PR!!～国立唐津海上技術学校で内航海運講座を開催～

◆関門トンネルで避難誘導訓練を実施～列車火災を想定、迅速な乗客の避難誘導に向けて～

◆大学生に物流・海事産業見学会を実施～物流業・海運業の重要性をアピール～

◆平成 29 年度中小造船業・船用工業経営技術講習会を開催～中小造船業・船用工業事業者の経営技術の向上に資するホットな話題を提供～

◆今年度最後のバリアフリー教室を開催～バリアフリー教室 in 西陵小学校：平成 30 年 2 月 14 日（水）～

◆平成 29 年度自動車事故防止セミナーを開催～みんなの安心のために、「安全」について考えてみませんか～

### 2 お知らせ

◆宿泊旅行統計調査（平成 29 年 12 月第 2 次速報、平成 30 年 1 月第 1 次速報、平成 29 年・年間値（速報値））

◆民泊について「知りたい」「聞きたい」にお応えします！～民泊制度のポータルサイト、コールセンターを新設～

◆「自動車運送事業者における脳血管疾患対策ガイドライン」を策定しました

◆「C to Sea プロジェクト」のシンボルマークとアンバサダー決定！！

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

◆報道発表

◆お知らせ

◆更新情報

---

#### 1 現場レポート

---

◆海上技術学校生徒の就職先に内航海運を PR!!

～国立唐津海上技術学校で内航海運講座を開催～

◎九州運輸局等で構成する九州地区船員対策連絡協議会は、2 月 20 日（火）国立唐津海上技術学校で、1, 2 年生 74 名を対象に、内航海運業への就職促進を目的とした内航海運講座を開催しました。

◇内容

・多くの産業で労働者不足が顕在化している中、内航海運業界においても、船員不足や高齢化がすすんでおり、若年船員の確保と育成対策が喫緊の課題となっているため、直ぐに就職が期待できる同校の生徒に内航海運と船員の仕事についての理解

を深めて貰い、就職先に内航船員を選択して貰うとともに就職後の定着を図ることを目的に実施したものです。

なお、同校は、(独)海技教育機構(JMETS)の船員養成機関であり、卒業後は、乗船実習科を経て大多数が貨物船、タンカー、旅客船、タグボート、外航船などに就職しています。

・同講座では、これから就職先を模索していく1,2年生を対象に運輸局職員及び内航事業者から内航海運や船員等についての講話を行った後、運輸局職員が内航海運事業の代表者へインタビューする形でディスカッション(生徒も交えて)を行い、具体的な仕事内容や居住環境、給料、休暇、スキルアップの方法など内航船の実態や優位性を引き出し、内航船員の魅力をアピールしました。

・同日、同校の視察に訪れていた九州運輸局加賀局長から生徒らに「将来を担う皆さんは、貴重な存在であり、期待しているので、頑張ってください」旨の激励がありました。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

・参加した生徒へのアンケートでは、93%の生徒が「今回の講座を聞いて参考になった」と答えており、感想として、「進路の選択肢が増えた」、「外航船を目指していたが、内航海運もたくさんの魅力を感じた」、「若い船員が必要と聞いたので、必死に勉強して貢献したい」等の意見が寄せられ、内航海運業の重要性や内航船員の魅力をPRできたと思われまます。

・九州運輸局としては、今後も、九州地区船員対策連絡協議会の一員として、これらの取組みを継続し、内航船員の魅力を伝えることによって、内航海運業界の船員不足及び高齢化の解消に繋がるよう、積極的に活動していくこととしています。

(海事振興部 貨物課・船員労政課)

◇内航海運講座模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_1.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_1.pdf)

---

#### ◆関門トンネルで避難誘導訓練を実施

～列車火災を想定、迅速な乗客の避難誘導に向けて～

◎九州旅客鉄道株式会社(JR九州)が2月16日(金)に山陽本線関門トンネル上り線を使用して、福岡県警察本部鉄道警察隊、門司警察署、山口県警察署、北九州市門司消防署、陸上自衛隊及び西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)、四国旅客鉄道株式会社(JR四国)の参加のもと実施した平成29年度関門トンネル避難誘導訓練に、九州運輸局及び中国運輸局職員も参加しました。

#### ◇内容

・平成23年5月27日に発生したJR北海道石勝線清風山信号所構内でのトンネル内列車火災事故を教訓に、利用客の迅速な救済救護を目的に実施。

・関門トンネル走行中の下り列車で火災が発生し運行不能となったとの想定。

・避難誘導、状況把握、情報伝達の3つの訓練を実施。

・乗務員の適切な指示のもとJR九州社員扮する乗客役が列車から梯子で線路に降車し、その後トンネルから地上へ脱出。

・消防署員による重傷者に見立てた人形を担架で搬送する訓練も実施。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

・参加者全員が連携した人命優先と迅速かつ的確な避難誘導等が行われた訓練でした。

・鉄道では事故や災害、テロなどの様々な危機が発生する可能性があります。いざという時のために、人命を預かる旅客輸送事業に携わる関係者一人ひとりが常に安全の確保と危機管理意識を強く持つ必要があります、今後も訓練等を通して事故発生時における対応能力のスキルアップに向けた取組を促進してまいります。

(鉄道部 安全指導課)

◇避難誘導訓練の様子は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_2.pdf)

---

◆大学生に物流・海事産業見学会を実施  
～物流業・海運業の重要性をアピール～

◎福岡運輸支局門司港庁舎は若松海事事務所と合同で、2月15日(木)に九州国際大学3年生19人、北九州市立大学生5人に対し、物流・海事関係事業者の協力を得て「施設見学会」及び「物流講座」を開催しました。

・今回の見学会は、就職活動を控えた大学生に施設見学で物流・海事の現場を間近に見てもらい、物流講座で物流の基礎や業務内容を知ってもらうことで、物流業・海事産業を就職の選択肢として捉えてもらうことを目的に企画したものです。

◇内容

<施設見学>

・フェリー：北九州市新門司港の阪九フェリー(株)にて、同社社員の説明で平成28年に就航したカーフェリー「ひびき」の船内各種設備並びに旅客及び貨物輸送の現状を見学。

・コンテナターミナル：北九州市門司区の太刀浦コンテナターミナルにて、(一社)北九州港振興協会の職員からターミナルの役割や輸出入されるコンテナについて説明。

・倉庫：北九州市門司区の倉庫業者 門菱港運(株)の倉庫にて、同社の社員が倉庫業の果たす役割について説明した後、寄託貨物及びその保管・搬入状況を見学。

<物流講座>

・物流講座：北九州市門司区の総合物流業の(株)ジェネックの社員から「暮らしを支える物流の仕組みについて」と題し、物流の機能や流れ、モード比較など物流の基礎に加え、物流企業に入社した際の実際の仕事内容などを説明するとともに就職活動の実体験も紹介。

◇福岡運輸支局門司港庁舎からのメッセージ

・国内の様々な産業で人口減少・少子高齢化の影響により「労働力不足」が深刻化する中、物流・海事分野においても労働力確保・育成は喫緊の課題となっています。こうした課題に、海事・物流関係企業団体、教育機関、行政機関の産・学・官が連携し次世代を担う青少年に見学会等を実施してきています。

・今般の見学会では、参加した大学生から、「講座で物流の重要性を知ることができ、さらに実際に見て、より具体的にイメージを持つことができた。」「海上運送は我々の生活に非常に重要。物流について興味を持つことができた。」との感想があり、所期の目的が達成できたと感じる事が出来ました。

・この取り組みで1人でも多くの学生が、物流・海事関係業界への就職を目指してもらうことを切望するとともに、今後も産学官がより連携し、取り組みを継続していくことが重要であると考えています。

(福岡運輸支局(門司港庁舎)、若松海事事務所)

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_3.pdf)

---

◆平成29年度中小造船業・船用工業経営技術講習会を開催

～中小造船業・船用工業事業者の経営技術の向上に資するホットな話題を提供～

◎九州運輸局では、2月14日(水)に福岡市において、中小造船業・船用工業経営技術講習会を開催しました。

(海事振興部 船舶産業課)

◇講習会の内容等詳細は、こちらからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_4.pdf)

---

◆今年度最後のバリアフリー教室を開催～バリアフリー教室 in 西陵小学校：平成30年2月14日(水)～

◎九州運輸局は、西日本鉄道(株)、(公財)九州盲導犬協会の協力のもと、2月14日(水)福岡市立西陵小学校(福岡市西区生の松原)4年生39人を対象に、「バリアフリー教室」を開催しました。

◇概要

九州運輸局では、市民の方々に高齢者・障害者等の疑似・介助体験を通じてバリアフリーについての理解を深め、サポート意識の向上を図るため、各地で「バリアフリー教室」を開催しています。特に、日本の未来を担う子供達をターゲットに、これから将来に向かって誰もが高齢者・障害者等に対し「お手伝いしましょうか」とごく自然に声かけすることが当たり前となるような「心のバリアフリー」社会の実現を目指しています。

◇内容

・教室に参加した39人の児童に対して、体育館内に用意した特設コースで九州運輸局職員の指導で車いすの体験、介助体験を実施。続いて、(公財)九州盲導犬協会の指導のもと、アイマスクを着用し視覚障がい者の疑似体験を行いました。また、同協会講師による盲導犬の特性等の説明や訓練の実演見学を行いました。  
・その後、校庭で西日本鉄道(株)講師によるバスのしくみや乗り方の説明及び車いすのバス乗降体験を実施しました。

◇九州運輸局からのメッセージ

・今回の教室で、今年度予定した全てのバリアフリー教室が終了しました。今年度(平成29年度)は九州管内の13小学校945名の小学生を対象に教室を開催しました。バリアフリー教室を体験した小学生からは「困っている人がいたら声を掛け

てあげたい」「バスには人にやさしい色々な仕組みがあることが分かった」などの感想がありました。

・今後も九州運輸局では、このような取り組みを通じて、誰にでも自然に声かけができる「心のバリアフリー」社会の実現を目指してまいります。

(交通政策部 消費者行政・情報課)

◇「バリアフリー教室 in 西陵小学校」の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_5.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_5.pdf)

---

◆平成 29 年度自動車事故防止セミナーを開催

～みんなの安心のために、「安全」について考えてみませんか～

◎九州運輸局では、2月13日（火）に南近代ビル（福岡市博多区）にて自動車運送事業関係者等156人の参加の下、事業用自動車の事故削減に向けた平成29年度自動車事故防止セミナーを開催しました。

◇内容

・講演1：安全運転の考え方と安全運転の習慣化法（九州大学名誉教授 松永勝也氏）

・講演2：事業用自動車の安全対策（国土交通省自動車局安全政策課 事故防止対策推進官 森本正司）

・講演3：飲酒運転撲滅と交通安全（福岡県飲酒運転撲滅アドバイザー 大江久則氏）

◇九州運輸局からのメッセージ

・昨年6月、国土交通省は「事業用自動車総合安全プラン2009」を見直し、2020年度までを計画期間とする「事業用自動車総合安全プラン2020」（以下「安全プラン2020」という。）を策定しました。

・安全プラン2020は、平成32年度までに死者数を235人以下、事故件数23,100件以下、飲酒運転ゼロを目標に、行政・事業者・利用者の連携強化による安全トライアングルの構築や飲酒運転等悪質な法令違反の根絶など6項目からなる事故削減目標の達成に向けた重点施策を設定し、世界一安全な輸送サービスを提供するためにソフト・ハード両面から総力を挙げて取り組むこととされています。

・九州地域事業用自動車安全対策会議（事務局・九州運輸局）では、九州内における平成32年度までの目標を①死者数23人以下②人身事故件数2900件以下③飲酒運転ゼロと設定し、安全プラン2020の重点施策に沿って様々な取り組みを推進していくこととしています。

・すべての関係者が不断の努力を続け、安全で安心な自動車交通社会を実現できるよう、関係者一丸となって取り組みを推進してまいります。

(自動車技術安全部 保安・環境課)

◇「事業用自動車総合安全プラン2020」の概要

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_6.pdf)

◇セミナーの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_7.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_7.pdf)

## 2 お知らせ

◆宿泊旅行統計調査（平成 29 年 12 月第 2 次速報、平成 30 年 1 月第 1 次速報、平成 29 年・年間値（速報値））

宿泊旅行統計調査の平成 29 年 12 月の調査結果（第 2 次速報値）、平成 30 年 1 月の調査結果（第 1 次速報値）及び平成 29 年年間値（速報値）を取りまとめました。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/kankocho/news02\\_000345.html](http://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000345.html)

◆民泊について「知りたい」「聞きたい」にお応えします！

～民泊制度のポータルサイト、コールセンターを新設～

訪日外国人旅行者が急増する中、急速に拡大しつつある民泊サービスについて、その健全な普及を図るため、事業を実施する場合の一定のルールを定めた「住宅宿泊事業法」が平成 30 年 6 月 15 日に施行されます。このうち、住宅宿泊事業を営もうとする者が届出を行うなどの準備行為については、3 月 15 日から開始（施行）されます。観光庁では、健全な民泊サービスの普及を図るため、民泊制度の内容や届出の方法などを掲載したポータルサイトと、民泊制度に関する問い合わせを受け付けるコールセンターを新設。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/kankocho/news06\\_000349.html](http://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000349.html)

◆「自動車運送事業者における脳血管疾患対策ガイドライン」を策定しました

近年、事業用自動車の運転者が疾病により運転を継続できなくなる発生件数が増加しています。その中で最も多いのは脳血管疾患であることから、国土交通省では運転者の脳健診の受診等、脳血管疾患対策を進めていくために知っておくべき内容や取り組む際の手順等を具体的に示した「自動車運送事業者における脳血管疾患対策ガイドライン」を策定しました。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02\\_hh\\_000335.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000335.html)

◆「C to Sea プロジェクト」のシンボルマークとアンバサダー決定！！

国土交通省海事局では、子どもや若者をはじめ、幅広い皆さんに海や船の楽しさを知ってもらう「C to Sea プロジェクト」を進めています。

この度、海を応援する皆さまの輪を広げる“求心力”となる「シンボルマーク」と、海と船の魅力を“ナビゲーション”する「アンバサダー」に STU48 を任命することを決定しました。

◇こちらの URL からご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01\\_hh\\_000415.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01_hh_000415.html)

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

#### ◆報道発表

- ◇ (H30. 2. 28 記者会見) 物流効率化シンポジウムの開催概要について  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00047.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00047.html)
- ◇ (H30. 2. 28 記者会見) 2017 年における九州の外国人入国者数について  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00046.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00046.html)
- ◇ (H30. 2. 28 記者会見) 「訪日外国人旅行者 受付・診療マニュアル」、「多言語ツール」の作成について  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00045.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00045.html)
- ◇ (H30. 2. 28 記者会見) 訪日外国人旅行者のためのレンタカー用ステッカー及びドライブマニュアルを作成します  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00044.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00044.html)
- ◇ (H30. 2. 28 記者会見) 訪日外国人旅行者の受入環境整備状況  
～SUNQパス南部九州版の販売開始等～  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00043.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00043.html)
- ◇ (H30. 2. 28 記者会見) 今年度のトラック運送事業の生産性向上等の取組みについて  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00042.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00042.html)
- ◇ (H30. 2. 26) 平成 29 年度「九州バリアフリー等連絡会議」を開催します  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00040.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00040.html)
- ◇ (H30. 2. 20) 路線バスを活用した貨客混載・共同輸送を初認定！  
～物流効率化と地域住民の生活サービス向上を実現～  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00037.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00037.html)
- ◇ (H30. 2. 16) 鹿児島市におけるタクシーの特定地域計画の認可について  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00036.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00036.html)

#### ◆お知らせ

- ◇ (H30. 2. 23) バスのトランクルームの確実な施錠の徹底について  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001\\_00039.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00039.html)

#### ◆更新情報

<統計情報のみ掲載いたします。その他更新情報は下記 URL からご覧ください>  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

- ◇ (H30. 2. 27) 自動車保有車両数 (平成 30 年 1 月)  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/syaryousuu.htm>
- ◇ (H30. 2. 27) 燃料別等自動車保有台数 (平成 30 年 1 月)  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/nenryoubetsu.htm>

◇ (H30.2.27) 新規自動車登録数 (平成 30 年 1 月)  
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/shinkitouroku.htm>

◇ (H30.2.21) 「九州のうんゆ」 (平成 29 年 12 月実績)」  
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/body.htm>

//////// 編集部だより //////////////////////////////////////  
暦 (二十四節気) の上では立春 (今年は 2 月 4 日) からすでに春になっていますが、  
普段私たちが使っている新暦 (太陽暦) では春は 3 月から 5 月をいいますので、今  
日 (3 月 1 日) から春ということになります。3 月に入れば日一日と暖かく明るい  
日ざしも多くなっていきますので、体感温度から「いよいよ春だなあ〜。」って感じ  
でしょうか。春は、出会いと別れ、それから旅立ちの時季。3 月はその準備に忙し  
く、12 月の別名として用いられる「師走」という言葉は、3 月に用いる方が相応し  
いのかもしれません。

◎季節の写真

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_378\\_8.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_378_8.pdf)

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、  
本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿くださ  
い。

////////////////////////////////////

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

■九州運輸局メールマガジン編集部 (九州運輸局総務部内)

Mail: [gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

---